

「飛翔プロジェクト」について ―本校の限りない発展に向けて―

山口県立下関中等教育学校 校長 大 木 至

1 はじめに

昨年度の本誌では「本校の未来像について 一中高一貫教育の良さを最大限に生かして―」という題でまとめ、結論として、「本校の未来像は、今の時代のニーズでもあり、中高一貫教育の良さでもある『社会を生き抜く総合的な人間力』と『高い学力』の2点をしっかりと培う進学校である」と述べさせていただきました。

この目標に向かって昨年度から継続的に、教育課程の改善や公立では最速の学習進度計画、アクティブラーニングの導入、2・3回生での大学訪問、5回生での大学等ゼミ訪問など大学と連携を図った総合「海峡学」の充実等、様々な教育改善に積極的に取り組んでまいりました。

この結果、生徒会活動や学校行事、部活動等の人間性育成の取組の財産と相まって、大変落ち着いた学習環境の中で生徒は明るく活力に溢れ、学力は着実に伸び、進路結果も高まるなど、大きな成果が上がっているところです。

2 小学校教員、一般企業アンケート結果から

今年度の大きな取組の一つとして、外部評価を教育改善に一層生かすために小学校教員と民間企業の方を対象にアンケートを実施し、470人程度の小学校の先生方、220人程度の民間の方からご回答をいただきました。

アンケートでは、第一の質問として「本校の教育活動をどう評価しますか」という総合的な評価を尋ねました。

- ①年々、充実してきており、魅力がある。
- ②まずまず満足できる教育活動が行われている。
- ③あまり魅力ある教育活動をしているとは思われない。
- ④現在の下関中等の取組をほとんど知らないので評価できない。

回答結果は、小学校の先生の66%、民間の方の48%が回答①、②を選ばれ、本校を知っておられる方のほとんどから好意的で高い評価をいただきました。

一方、小学校の先生の31%、民間の方の51%が、「④本校の取組をほとんど知らない」と回答され、課題が残りました。

こうしたことから、本校の取組の周知にはまだまだ課題があり、今後の積極的な広報活動が極めて重要であるとともに、本校として今まで以上に、教育活動についてシンプルに分かり易く、地域や保護者の方々に示す必要があると考えるようになりました。

以上から、現在の本校の教育活動全体を「飛翔プロジェクト」と名付け、今年度、次のように整理しました。

3 「飛翔プロジェクト」について

本校教育活動について、これまで「豊かな人間性と主体性を育むチューター制・生徒会活動・部活動」「世界に飛躍する人材を育成する語学教育と国際理解教育」などの4つの取組で示してきました。その表現を一層シンプルにし、次の「6つの柱」で構成します。

第一に、平成29年度からのコミュニティ・スクール導入を踏まえ「大学・地域連携」を図った学校づくりを土台に置き、第二・第三に「人間教育」と「学力向上」という本校教育活動の大目標を示し、第四・第五として21世型人材として必要な「国際教育」と「サイエンス教育」の充実を図り、第六にキャリア教育と探究活動の核となる総合学習「海峡学」を配し、これら全体によって本校教育理念である「誇りと自信をもって世界に飛躍する人材」を育てていきます。

以下に、主な取組を紹介します。これらは、コミュニティ・スクール、サイエンス講演会以外は全て現在の取組です。

6つの柱	主な取組
大学・地域連携	<input type="checkbox"/> 大学・企業等と連携するコミュニティ・スクール、 <input type="checkbox"/> 地域貢献ボランティア活動 <input type="checkbox"/> 大学訪問・大学等ゼミ訪問、 <input type="checkbox"/> 小学生対象サイエンスセミナー・英会話教室、 <input type="checkbox"/> 企業訪問
人間教育	<input type="checkbox"/> 校訓による人づくり、 <input type="checkbox"/> チューター制、 <input type="checkbox"/> 生徒会活動・学校行事・部活動、 <input type="checkbox"/> 道徳教育・人権教育
学力育成	<input type="checkbox"/> スタディ・ガイド、 <input type="checkbox"/> アクティブラーニング、 <input type="checkbox"/> 速修進度計画、 <input type="checkbox"/> ステップアップ・ノート
国際教育	<input type="checkbox"/> 語学教育（英語・中国語・ハングル）、 <input type="checkbox"/> 海外語学研修、 <input type="checkbox"/> 国際交流、 <input type="checkbox"/> 留学促進、 <input type="checkbox"/> 英検取得
サイエンス教育	<input type="checkbox"/> 理数教育、 <input type="checkbox"/> 山口大学工学部・山口東京理科大学工学部との連携、 <input type="checkbox"/> サイエンス講演会（医学・工学等）
総合学習「海峡学」	<input type="checkbox"/> キャリア教育と探究活動（別掲全体計画参照）、 <input type="checkbox"/> キャリア講演会、 <input type="checkbox"/> 企業研究、 <input type="checkbox"/> 卒業研究発表会

4 成長し続ける学校をめざして

5回生で取り組む「大学等ゼミ訪問」は、95%の生徒が意義ある取組だと答えたように大成功でした。

12月に、来年度に向けて生徒の受入れのお願いに山口大学経済学部を訪ねた時のことです。本校卒業生で現大学4年生の藤本将直君の話題になりました。

彼は、経済学部経営学科3年時に最難関国家試験である公認会計士試験に合格し、人間性・リーダーシップに秀で、大学説明会等でも活躍するなど素晴らしい人材であり、下関中等で培った長所を大いに発揮しているとお誉めの言葉をいただきました。

藤本君は、下関中等時代は、野球部で活躍し、謙虚な人柄ながら体育大会応援団長等を務め、一般入試で山口大学に進学しています。

昨年度の本誌でも申し上げたように、本校は「人間力育成」と「学力向上」という
二大目標を立て教育活動を進めています。藤本君のようにこの両面が備わってこそ、
これからの厳しいグローバル社会を乗り切ることができるのだと確信しています。

国は社会人基礎力として、「主体性」「実行力」「課題発見力」「計画力」「発信力」「柔
軟性」「規律力」などを求めています。

平成32年度からスタートする新大学入試はもとより、現在の社会そのものが、十
分な知識をもち、豊かな思考力や表現力、主体性を身に付けた総合力の高い人物を求
めています。本校は、リトルティチャー制や大学との連携など特色ある教育活動を通
じてこのような人材を育てる学校として成長し続けてまいります。

今後とも、皆様のご指導ご鞭撻のほどをお願い申し上げます。